

ゼロカーボンベースボールパークによる  
官民連携まちづくりと地域ぐるみでの脱炭素経営支援

尼崎市 経済環境局 経済部 経済観光振興課  
西岡 努



# 尼崎市の概要と地域課題

## ① 尼崎市の概要



面積：50.71 km<sup>2</sup>

人口：454,236人 (2023年1月現在)

世帯数：225,916世帯 (2023年1月現在)

～特徴～

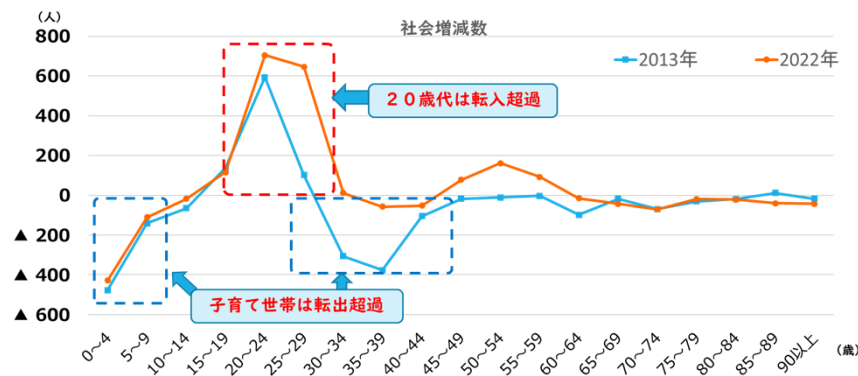
●阪神電車、JR、阪急電車が東西に走っていて、大阪や神戸、京都や奈良へも乗り換えなしでアクセス出来る「**交通の便がとても良いまち**」

●利便性の高さ等から阪神工業地帯の中核として発展した「**産業のまち**」

## ② 地域課題

**イメージの向上に向けた情報発信**

(公害 → 治安・マナー → 子育て世帯の流出)



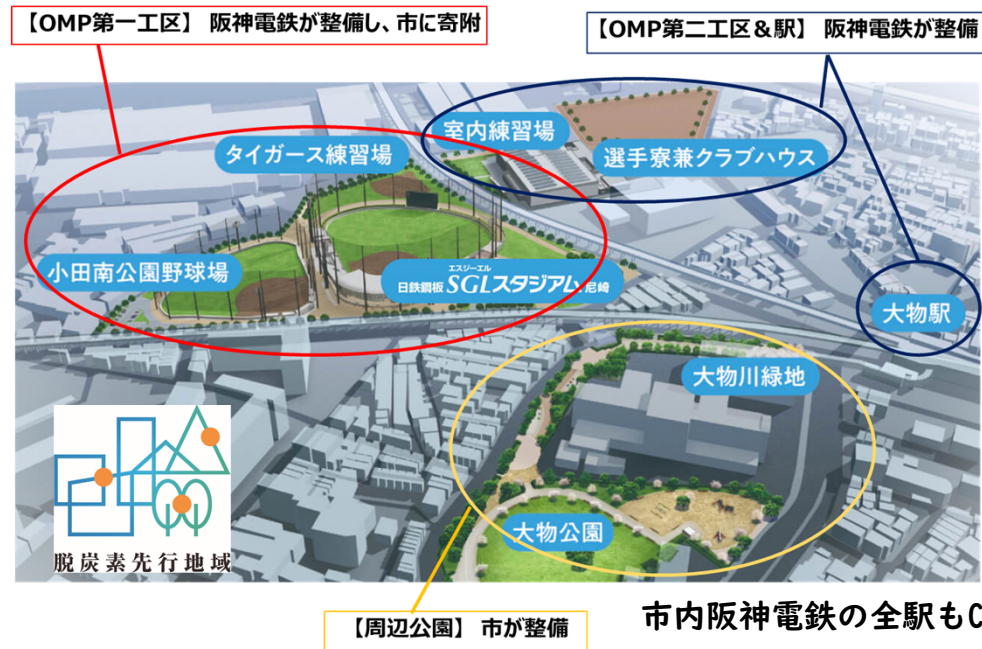
# ゼロカーボンベースボールパークによる 官民連携まちづくり（個の取組）



## 阪神タイガースファーム（二軍）の移転に 併せた「脱炭素によるまちづくり」

### ～特徴～

- **阪神グループと連携した官民連携まちづくり**  
（南部地域のまちづくり協定など）
- **移転に併せて周辺の公園や道路の整備**  
（税込増による再投資、環境省、国交省の交付金活用）
- **地域のシンボル施設として活用しイメージ向上**  
（賑わいイベント等の開催、脱炭素のPR）



### 効果

- **交流人口の増加**（来園者数年間30万人増加、交流人口年間50万人増加）
- **経済波及効果の発生**（駅周辺や周辺商店街の店舗増加、経済波及効果額700億円以上の発生）
- **防災機能の向上**（地域住民の避難場所の確保や停電時の非常用電源の確保）

# 地域ぐるみでの脱炭素経営支援（面の取組）



## 脱炭素経営にチャレンジする企業のオープンファクトリー （あまがさきエリアモノづくりパビリオン）

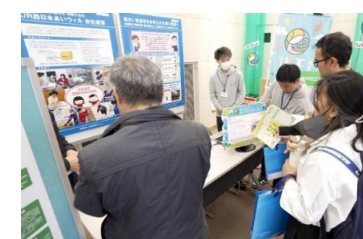
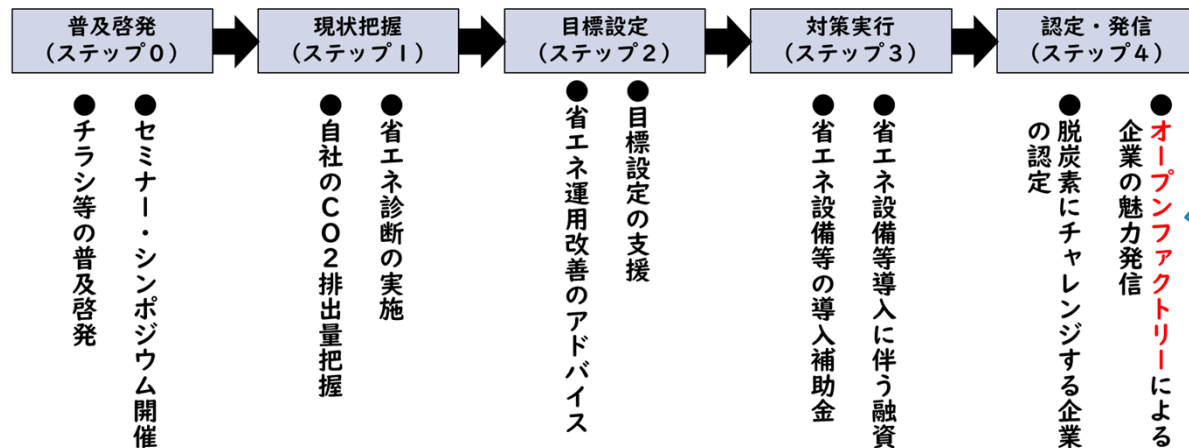


脱炭素経営にチャレンジする市内企業の魅力発信と地域産業の活性化を目的に、企業、学生、産業団体、金融機関等が力を合わせ、地域一体型オープンファクトリーを開催。

### ■脱炭素化設備等導入促進支援事業

市内中小企業の脱炭素経営を伴走型で支援！

AG6として環境省の ※全国16カ所が選定  
「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業  
（上限3,000万円）」に選定



開催日：12月8日(土)、9日(日)

参加者数：約650人 参加企業：11社

AG6とは…2010年により良い環境を次世代に引き継いでいくことを目的に、6団体（尼崎市、尼崎地域産業活性化機構、尼崎商工会議所、尼崎経営者協会、尼崎工業会、尼崎信用金庫）で、「ECO未来都市・尼崎」共同宣言を行い、地域資源や人のつながりを活かした環境のまちづくり活動を行っている連携団体。

# 現状の課題



## モデル的な取組から地域の実装化へ

- 現在は、**モデル（試行・先行）的な取組を中心**に行っており、本事業だけでは、本市のカーボンニュートラル達成は難しい。
- 今後は、**モデル的な取組から地域の実装化に向けて、意識が低い層への波及効果を促進**するための発信や事業展開について検討していく必要がある。
- また、**南部地域にある工場や物流集積地帯のカーボンニュートラル化**についても、個々の取組だけではなく、**面的な取組**を検討していく必要がある。

# 今後の展開イメージ

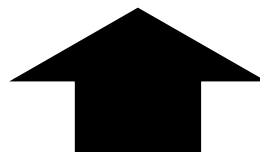


## 地域経済の発展

イノベーション



カーボンニュートラル



～オールあまがさき（AG6を中心）の支援～

行政、産業団体、金融機関、学生、企業等が一体で連携した取組が重要